

## 第25回 環境法政策学会

*Japan Association for Environmental Law and Policy*

2021年6月19日(土) オンライン開催 (Zoom Meeting & Webinar)

### プログラム

10:00~12:00 分科会<個別報告> (報告20分、コメント5分、質疑5分) Zoomミーティング  
第一分科会  
第二分科会  
第三分科会  
第四分科会  
第五分科会

シンポジウム「3R法と資源循環」 (Zoomウェビナー)

13:30 ~ 13:40 <挨拶>

13:40 ~ 15:50 <第1部 報告>

15:50 ~ 16:15 休憩

16:15 ~ 17:55 <第2部 パネルディスカッション>

#### [注意事項とお知らせ]

- 1 参加申込は、以下のフォームからご登録ください。

開催方式: オンライン開催 (Zoom Meeting & Webinar) 4頁の注意事項をご確認ください

定員数: 500名 (シンポジウム) / 100名 (分科会)

申込方法: 以下のURLからご登録願います (期限6月12日(土))

<https://forms.gle/XVjX3nowpGoUoSP96>

(右記QRコードからもお申込みいただけます)



- 2 開催・運営に関する質問等は、下記宛にお願いします。

オンライン開催実行委員会 \*メール: [kankyo2021.shk@gmail.com](mailto:kankyo2021.shk@gmail.com)

- 3 午前中の分科会に、会員と一緒に会員外の方が参加する場合には、会員外の方のお名前とご所属を事務局までご連絡ください。 事務局: [kankyo@shojihomu.or.jp](mailto:kankyo@shojihomu.or.jp)

- 4 会員外の方は、午後のシンポジウムと午前の第5分科会のみ、参加可能です (無料)。

<環境三学会合同シンポジウム>

日時: 2021年7月11日(日) 13:00~15:00 オンライン開催

テーマ: 「気候変動適応策: わが国で直面する課題を克服するための研究の最前線」(仮)

※日時確定済み。プログラム等の詳細は、学会 web やメールにて連絡予定

# 環境法政策学会 第25回学術大会プログラム(Zoomミーティング)

《参加者・報告内容等一部が変更になる可能性があります》

## 第一分科会 国内法 [司会者：渡邊知行 (成蹊大学)]

- ①生物多様性地域戦略に関する法政策・法施策の提案—地域戦略事例の分析・提案を踏まえて  
(報告者：戸田博之 (神戸大学大学院法政策専攻博士課程修学、元・大阪府庁職員)  
／コメンテーター：加藤峰夫 (横浜国立大学))
- ②建設アスベスト訴訟高裁判決における建材メーカーの共同不法行為責任—民法 719 条 1 項後段の解釈を  
めぐる議論を踏まえて— (照井遥瑛 (明治大学大学院) / 村松昭夫 (弁護士))
- ③リサイクル関係の法律と化学物質関係の法律において、業所管省としての経済産業省が所管していること  
の制度改善への影響 (永見 靖 (環境省) / 村上裕一 (北海道大学))
- ④企業による廃棄物回収事業と関連する廃棄物法制の見直しの整理及び課題  
(堀江彩生 (環境省) / 佐藤 泉 (弁護士))

## 第二分科会 国際法・比較法 [司会者：高村ゆかり (東京大学)]

- ①気候変動政策に関する国際民間航空機関・国際海事機関の権限と指導原則についての一考察  
—動的な国際法形成把握に向けた新たな視座の必要性—  
(藤田大智 (元一橋大学大学院) / 野村撰雄 (日本海事センター))
- ②ナノテクノロジーの法的予防措置に関する近年の動向  
—2014 年以降のアメリカと EU の規制状況を踏まえた比較検討—  
(中山敬太 (早稲田大学社会科学総合学術院) / 下山憲治 (一橋大学))
- ③米州人権条約における「健全な環境に対する権利」の法的根拠  
—ラカ・ホンハット協会先住民族対アルゼンチン事件の検討を中心に—  
(鳥谷部壘 (摂南大学講師) / 小坂田裕子 (中京大学))
- ④モンゴル法における「環境」・「環境権」概念の解釈と課題  
(スフバートル・スフチョローン (名古屋大学大学院) / 奥田進一 (拓殖大学))
- ⑤モンゴルにおける共同不法行為の効果論に関する一考察  
(スフバートル・モロム (名古屋大学大学院) / 蓑輪靖博 (福岡大学))

## 第三分科会 企画セッション「グローバルな視点からの日本の環境影響評価制度の再検討」

[代表者：増沢陽子 (名古屋大学)]

- I 企画の趣旨 (増沢陽子 (名古屋大学))
- II 国際法における制度・議論の発展からの示唆  
①天然資源・エネルギーの利用と開発に関する環境影響評価 (児矢野マリ (北海道大学))  
②生物多様性保全と環境影響評価 (遠井朗子 (酪農学園大学))
- III 今後の日本の環境影響評価制度に関する論点  
③評価制度としての環境影響評価の可能性と限界 (久保はるか (甲南大学))  
④日本における SEA 法制の方向性に関する考察—EU の制度状況を参照して (増沢陽子 (名古屋大学))
- IV コメント、質疑・応答および討論  
コメンテーター：原科幸彦 (千葉商科大学) / 勢一智子 (西南学院大学)
- V 総括

## 第四分科会 企画セッション「環境法実施過程の実証分析と制度改革提案」

[代表者：北村喜宣（上智大学）]

企画の趣旨

（田中良弘（立命館大学）

- ① 大気汚染防止の実施過程 —特定粉じんを対象として—（北見宏介(名城大学)
- ② 森林管理法制と法政策の実効性に関する考察（三好規正(信州大学)
- ③ 漁業法の実施過程の現状と課題 —水産資源保護の実効性確保の観点から—（田中良弘（立命館大学）
- ④ 『ABS 指針』策定後の遺伝資源の国際取引の課題—ABS 指針と提供国の ABS 法の遵守を視野に入れて—（神山智美(富山大学)
- ⑤ 水際二法および種の保存法のもとの象牙取引規制と条例の可能性（北村喜宣(上智大学)
- ⑥ コメント、質疑・応答および討論  
コメント・討議：釧持麻衣（日本都市センター）／箕輪さくら（宮崎大学）

## 第五分科会 企画セッション「石炭火力発電所をめぐる民事訴訟・行政訴訟における法的論点」

[代表者：池田直樹（弁護士）]

司 会 島村 健（神戸大学）

- ① 火力発電所の環境アセスの確定通知の取消請求訴訟と訴訟要件（杉田峻介（弁護士））
- ② 石炭火力の環境影響評価書確定通知取消訴訟における本案審理 —大気汚染対策（PM2.5）の観点から（池田直樹（弁護士））
- ③ 石炭火力の環境影響評価書確定通知取消訴訟 —温暖化対策の観点から（浅岡美恵（弁護士））
- ④ CO<sub>2</sub>排出と不法行為～共同不法行為論を中心に（和田重太（弁護士））

## シンポジウム（Zoomウェビナー開催）

### 「3R法と資源循環」

☆第1部 報告☆ 司会：黒坂則子（同志社大学）、堀口健夫（上智大学）

- 13:40～14:10 総論：循環管理法政策の展開—その過去・現在・未来 大塚 直（早稲田大学）
- 14:10～14:30 国内3R法の展開（プラ以外） 赤渕芳宏（名古屋大学）
- 14:30～14:50 プラスチックをめぐる法政策の展開 筑紫圭一（上智大学）
- 14:50～15:10 EU法の動向 勢一智子（西南学院大学）
- 15:10～15:30 アジアにおける3Rの展開 小島道一（アジア経済研究所）
- 15:30～15:50 コメント 鶴田 順（明治学院大学）・田崎智宏（国立環境研究所）
- ◆15:50～16:15 — 休 憩 —

☆第2部 パネルディスカッション☆ 司会：大久保規子（大阪大学）、樋渡俊一（弁護士）

- 16:15～17:55 パネリスト：①平尾禎秀（環境省／循環型社会推進室長）  
②山内 剛（亀岡市環境先進都市推進部長）  
③岡田健一（アマタ株式会社 取締役 執行役員）  
④大塚 直（早稲田大学）  
⑤勢一智子（西南学院大学）

## 【お申込要領】

- ・午前中の分科会で使用するZoomミーティングのURLと午後のシンポジウムで使用する ZoomウェビナーのURL は、事前に参加登録した方のみに、登録されたメールアドレスに6月18日（金）までに送信します（追加レジュメ等がある場合も同様です）。
- ・申込期限（6月12日(土)）までに登録フォームにて参加申込ください。

## 【Zoom 使用の注意事項】

- ・セキュリティ対策として、参加登録者以外の参加を認めていません。登録者以外の方が入室された場合、ホストが退室を求めることがあります。
- ・質疑応答はZoomウェビナーの機能を使用する予定ですが、当日すべての質問に回答できない場合がございます。予めご了承ください。
- ・事務局の内部記録用にレコーディングをします。参加者による録音等をご遠慮ください。